

CAGLIERO¹¹

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.41 - 2012年5月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



福

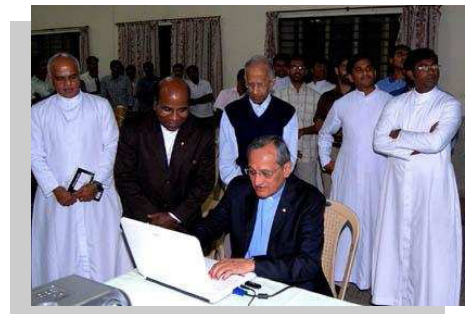
音を告げ知らせる働きは、神の恵みのうちに、祈りを伴うとき、効果を発揮します。そのため、宣教の第一の前提条件は、宣教師が神と深い絆で結

サレジオ会共同体全体に 活力をもたらす宣教師のための祈り

ばれていることです(『救い主の使命』78)。一方、すべての人は、祈り、犠牲、生活の苦勞を受け入れることによって教会の宣教活動に協力することができます。これらの捧げものを、教会の宣教の使徒職のため、敵対的な環境や迫害の苦しみにある宣教師たちのために、愛をもって神に捧げることができます。すべてのサレジオ会共同体の祈りは、ドン・ボスコの *Damihim animas* という宣教の心によって常に活気づけられています。すべての会員、特に高齢の会員、病気の会員もまた、祈りと苦しみを宣教師と宣教召命のために捧げるとき、宣教師になります！

このような観点から、毎年、サレジオ宣教の日のテーマをもとに祈りのカードが作成され、すべての共同体に配布されます。そのほかに、宣教のための口ザリオを祈ったり、四旬節の間、何かを断ってそれを捧げたり、あるいはその断ったものの費用を宣教のために献金したりするところもあります。宣教のための祈りと犠牲は、より大いなる教会への愛と、宣教の心の成長を育みます。そしてそれは、支部・管区共同体全体を活気づけます。

南アジアの福音宣教促進担当者、T.C.ジョージ神父のリーダーシップの下、2011年2月22日、総長によって祈りのミッション拠点が立ち上げられたのは、そのためです。南アジア地域に豊かな実りをもたらす、宣教の熱意の春を祈る祈りの使徒職を促進するためです。宣教地のため、管区や特定の状況のための祈りの意向は、インド、バンガローレの *Kristu Jyoti* サレジオ神学院の宣教グループに送られます (prayermissionhub@gmail.com)。このグループは拠点としての働きをしています。集められた祈りの意向は、地域の宣教グループ、養成支部、個人に送られ、祈りの宣教運動となります！



2012年サレジオ宣教の日の祈りのカードを希望される方は、srafalko@sdb.orgへご連絡ください。

5月24日 — 中国の教会のための祈りの日

主よ、中国と、この偉大な国でキリストのために迫害される人々をなぐさめてください：普遍教会の交わりの喜びをお与えください。苦しみ、忍耐、愛の年月に彼らの蒔く種が、豊かな収穫をもたらすよう、祝福をお与えください。

主よ、あなたから離れることを選んだ兄弟姉妹をあわれんでください。彼らが一人の牧者のもと、一つの囲いに立ち返りますように。

上海司教 イグナチオ・クン枢機卿(1991)



私の宣教召命のいしずえは、 東チモールのサレジオ会宣教師たちの生きたあかし



私

が初めてサレジオ会員に出会ったのは、サレジオのオラトリオでした。志願準備期と志願期の6年間、サレジオ会員、特に宣教師たちと共に暮らした経験は、私にとってすばらしい、忘れがたいものです。サレジオ会員の疲れを知らない働き、共にいてくれる存在、惜しみない広い心のあかしを通して、主がご自分のみ顔と愛を明かしてくださったと私は信じています。彼らは、チモールの人々とこの国、特に若者のために、神の愛を取り成してくれたと確信しています。この体験から、私の宣教召命は生まれました。

実地課程の後、インドネシアのジャカルタにいたとき、宣教師として生きる道について深く考える機会がありました。時間をかけて識別し、管区長と相談した後、総長に手紙を書いて宣教師になる望みを表明しました。そして、私はアルゼンチンに派遣されました。2008年9月、私はローマとトリノで行われた新宣教師研修コースを受講し、扶助者聖母大聖堂でパスクアーレ・チャーベス総長の手から宣教の十字架を受けました。私は2008年10月1日、宣教の守護聖人、聖テレジアの祝日にアルゼンチンに到着しました。

パタゴニアで言葉と地元の文化を学び、小教区の青年たちの中で最初の司牧を体験しました。それは兄弟的、使徒的な生活のすばらしい体験でした。特に、パタゴニア高原のガンガン、トレルー、チュブの先住民族の人々の中で。言葉や気候、カルチャー・ショックのため、最初の数か月が苦しかったのは確かです。気温はインドネシアやチモールと全く違いました。ここの冬は、非常に寒くなります。これまで健康上の問題はなく、今、とても元気なことを感謝しています。私たちの父ドン・ボスコが夢見た土地、パタゴニアの宣教師として、私は幸せです。

福音の価値観を私に教え、伝えてくれた家族と、サレジオ会宣教師の召命の賜物を、神に感謝します。家族のおかげで、私は今、パタゴニアの兄弟会員と共にいます。また、養成中に共に歩んでくれた東チモールのサレジオ会員に感謝します。この新しい文化、新しく出会う人々の中に最初に入っていく時期、私はサレジオ会共同体の中で安心して導かれ、支えられ、愛されていると感じました。私の共同体は、いつも支えてくれました。今、この地の若者たちが、私を友、兄弟として心から受け入れてくれていて知っています。



チモール出身、アルゼンチン・パタゴニアの宣教師 **ナタリーノ・ヴェナンシオ・フレイタス・デ・ジェズス**神学生



サレジオ会の宣教の意向

中国の教会のために

中国の教会が教会の交わりのうちに成長し、海外の中国人共同体に福音宣教が行われますように。

教皇様は毎年、まさに扶助者聖マリアの祝日、5月24日に、中国の教会のために祈るよう、呼びかけています。教会は、非常に複雑で難しい、痛ましい状況に置かれているからです。教皇様の祈りの呼びかけは、公認の教会と地下教会とが交わりを育むように、また真の和解と、イエス・キリストの教会とペトロの後継者への忠実のためです。

同時に、中国国外のあらゆる大陸に散らばる中国人共同体に使徒を送ってくださるよう、主に願います。最近のアフリカへの中国人移民の波だけでも、すでに2千5百万人を超えています。

祖国を離れて暮らす中国人のために、熱意あふれる宣教師を遣わしてくださるよう、私たちは主に願います。

